

入学者の受入方針

香川大学は、「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

各学部、学科・課程の具体的な入学者の受入方針は次のとおりです。

教 育 学 部

1. 教育理念

香川大学教育学部は、学校教員をはじめ教育者を養成し、広く教育界に貢献することを理念とします。今日の学校教育の現場には、急激な社会の変化の中で、教科に関する新しい学力をどのようにつけるか、子どもたち一人一人の自己実現をどのように支援できるかなど、人間形成に関するきわめて重要な課題があります。また急速な少子・高齢化、情報化社会の進展、切実さを増す環境問題、多文化社会における共生の在り方などの問題は、生涯にわたる教育の必要性和新たな教育的課題を生み出しています。このような教育に関する課題に柔軟かつ積極的に対処できるように、人間の発達・形成に関する教育研究を基礎に、教育に関する総合的な教育研究を行い、教育実践力を有する学校教育教員及び広く教育界で活躍できる人材の養成を目指します。

2. 教育目標

教育学部では、その教育理念に基づき、豊かな人間性と教職への強い使命感をもつとともに、社会の変化やニーズを適切に踏まえ、学校教育が抱えるさまざまな現代的教育課題に協働して対処することができる、専門的知識と実践的指導力を備えた教育者を養成します。

3. 教育内容

教育学部では、学部の教育目標に沿った4年間一貫教育を行っています。

1年次は各コースに所属し、全学共通科目と学部共通科目を中心に学び、教職に関する基礎とともに、自分の興味や関心を探求し視野を広げます。2年次以降は、より実践的で専門的な授業科目を履修していきます(小学校教育コース及び中学校教育コースでは、2年進級時に所属する領域等を決定します)。特に3年次以降の教育実習を中心として、教科内容の学習や教科外の諸活動を行う中で、それぞれの課題を発見し、解決する能力の育成を目指しています。4年次の卒業研究では、それぞれの具体的な課題に取り組み、専門分野の総合的学力を高めます。

4. 求める学生像(入学者に求める学力・能力・資質等)

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

* 高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

* 学校教育に携わる上で基盤となる論理的思考力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

* 多面的な視点から思考し、自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊学校教育に高い志と強い関心を持ち、継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力
＊様々な課題にチャレンジする積極性を持ち、経験の積み重ねを通して将来へのビジョンの構築に努める能力

⑤倫理観・社会的責任

＊教育者を目指す者として、また社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

ボランティア活動や学校内外での諸活動で教育に関する何らかの実践を経験するなど、子どもの理解と教育に携わる意欲を持ってください。

教育者を目指す者として他者の意見や価値観を尊重し、他者を思いやることができるコミュニケーション能力が必要とされるので、幅広い視野と主体性・協働性を養い、自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

5. 入学者選抜の基本方針

○一般選抜

一般選抜は、高等学校での教科面における学習の達成度を測る試験を通して、学校教育教員を目指す上で必要となる学力・能力・資質についてみることを目的としています。

大学入学共通テストは、6教科8科目又は7教科8科目を課しています。

＊前期日程

幼児教育コース及び小学校教育コースでは、学力試験（国語、英語、数学、理科）又は実技試験（音楽、美術、保健体育）から1科目選択し、得意な教科に関する達成度（知識・技能、及び思考力・判断力・表現力）を評価します。

中学校教育コースについては、受験教科によってA系（国語又は英語）、B系（数学又は理科）、C系（実技：音楽、美術又は保健体育）の三つの系を設けて教科の専門性（知識・技能、及び思考力・判断力・表現力）をより重視して評価します。さらに、全てのコースにおいて集団面接を行い、教職を目指すうえで必要なコミュニケーション能力を中心とした適性及び教職志望の強さを評価します。

＊後期日程

いずれのコースにおいても集団面接を行い、教職を目指すうえで必要なコミュニケーション能力を中心とした適性及び教職志望の強さを評価します。

○特別選抜

＊学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）

学校推薦型選抜Ⅰは、幼児教育及び小学校教育（特別支援教育含む）の指導に関わる学校教育教員を目指す上で必要となる学力・能力・資質をみることを目的としています。

大学入学共通テストは課さず、小論文及び個人面接を課すとともに、志望する区分によっ

ては口頭試問を行います。小論文は理解力、思考力・判断力・表現力などを総合的に評価します。個人面接・調査書等においては創造的な探求心や勉学意欲、人間性（倫理観・社会的責任など）、学校教員を目指す者としての適性（関心・意欲・態度、主体性・多様性・協働性など）を評価します。口頭試問においては基礎的な知識や技能を評価します。なお香川県教員希望枠では、教員として香川県の教育に貢献する強い意欲のある学生について、特別に選抜します。

***総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する総合型選抜）**

総合型選抜Ⅰは、技術、家庭、音楽、美術、保健体育の教科指導に関わる学校教育教員を目指す上で必要となる学力・能力・資質をみることを目的としています。

第1次選抜では、出願書類の内容を総合して関心・意欲・態度、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、知識・技能を評価します。第2次選抜では、第1次選抜の合格者に対して、グループ・ディスカッション（リフレクション・レポートを含む）及び個人面接・調査書評価を全員に課します。さらに口頭試問もしくは実技試験のいずれかを課します。グループ・ディスカッションは、課題に対する発想力、想像力、論理的思考力、教職に対する意欲等を評価します。個人面接・調査書等評価は、関心・意欲・態度、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、知識・技能、倫理観・社会的責任を理解する能力を評価します。口頭試問もしくは実技試験においては、各教科の基礎的な知識や技能を評価します。これらを総合的に判断し、最終の合格者を決定します。

***国際バカロレア選抜**

国際バカロレア選抜は、幅広く国際的な視野をもつ学校教育教員を目指す上で必要となる学力・能力・資質をみることを目的としています。

国際バカロレア認定校で学び、国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象に、提出された書類と面接で評価します。面接及び出願書類では、コミュニケーション能力、主体性、協働性といった教員としての適性、教職志望の強さを評価します。

法 学 部

1. 教育理念

香川大学法学部は、四国で唯一の国立大学法学部であり、高等裁判所をはじめとする重要な官公庁の位置する地の利を活かし、全国的にも高い評価を受ける教育研究を行うことを目指しています。

香川大学法学部は、開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民を育てます。さらに、法学的素養を備えた専門職業人を養成します。

夜間主コースにおいては、社会人としての幅広い判断力や、専門実務能力である政策遂行能力を育成します。

2. 教育目標

香川大学法学部では、その教育理念に基づき、開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民、法学的素養を備えた専門職業人を育成します。すなわち、世界の多様性とそこから生ずる諸問題を把握し、その解決に向けての法律学・政治学の基本的理念の知識を適切

に用いて自他の尊厳を守ることができる人間を育成します。

3. 教育内容

このような教育目的を達成するために、基礎から比較的高度な内容への段階的履修、ゼミナールを中心としたきめの細やかな少人数及び双方向の教育、希望する将来の職業に応じて重点の異なる法律職コース、公共政策コース及び企業法務コースの3コース制による教育を実施しています。

夜間主コースの学生は、全員が「総合法政コース」に所属します。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

* 高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識及び技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

* 物事をさまざまな角度からとらえ、筋道を立てて考える能力

* 紛争解決及び政策立案のために必要な論理的な思考力と判断力

* 文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現できる能力

* 相手の意見からも学び、議論をリードし発展させることのできる能力

③主体性・多様性・協働性

* 主体的に多様な他者とのかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする
協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

* 正義と衡平を追求しそれらを社会に実現しようとする意欲と態度

* 現代社会の動きに常に関心を持ち、書物や新聞を通して、広く社会で生じていることに対する問題意識を深め、自分の意見を形成できる能力

⑤倫理観・社会的責任

* 社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解し、自律的に行動できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学部に入學を希望する人は、入学後の教育に対応できる素質を養うため、高等学校において文系・理系にとらわれない幅広い学習をしてください。高等学校で学ぶことは、大学教育の前提となるものです。まずは英語及び国語の基礎的な能力を身につけて、国際的な視野と多様性への理解、思考力・表現力を養ってください。また法学・政治学は社会科学ですから、地理・歴史や公民など社会科の科目で学んだ知識も入学後の学修内容と深く結びつきますので理解を深めてください。さらに数学や理科の学びによって培われる論理的思考力は、法学・政治学の理解や様々な課題解決を考える上で重要です。このような高等学校における幅広い学びを通じて、法学・政治学の教育の前提となる知識や思考力・表現力を修得するとともに、社会の出来事に対する問題関心・意欲を身につけ、多様性を尊重し他者と協働することの重要性と、社会の構成員としての倫理観・社会的責任を理解してください。

5. 入学者選抜の基本方針

○一般選抜

*前期日程

大学入学共通テストでは、6教科8科目又は7教科8科目を課し、大学入学までに修得が期待される内容で示した基礎的な学力・能力・資質等（知識・技能）を評価します。教科・科目に係る個別テストでは、数学を通じた論理的思考力又は英語を通じた思考力や表現力、多様性への理解度を評価します。

*後期日程

大学入学共通テストでは、6教科8科目又は7教科8科目を課し、大学入学までに修得が期待される内容で示した基礎的な学力・能力・資質等（知識・技能）を評価します。教科・科目に係る個別テスト等では、小論文を通じて高い論理的思考力と表現力、社会の出来事に対する知識や問題関心・意欲、多様性への理解度を評価します。

○特別選抜

*学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）

小論文を通じて論理的思考力と表現力、社会の出来事に対する知識や問題関心・意欲、多様性への理解度を評価します。面接ではグループ・ディスカッション方式により、創造的な思考力と的確な表現力とともに、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任の観点を重視して評価します。

*学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）

大学入学までに修得が期待される内容で示した基礎的な学力・能力・資質等を測るため大学入学共通テストの国語を通じて思考力・判断力・表現力を評価し、数学を通じて論理的思考力、外国語を通じて表現力や多様性への理解度を評価します。また、調査書の審査では、地歴・公民の成績を重視して社会科における基礎的な知識の理解度を評価し、特記事項により主体性・多様性・協働性や関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。具体的には、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。志願者が作成した志望理由書の内容についても、調査書の特記事項と同様の観点から評価します。

*社会人選抜（夜間主コース）

小論文を通じて、論理的思考力と表現力、社会の出来事に対する知識や問題関心・意欲、多様性への理解度を評価します。面接では社会人学生としての志望動機のほか、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任の観点を評価します。

*私費外国人留学生選抜

小論文（日本語）を通じて、法学部で勉学するために必要な日本語による論理的思考力と表現力、社会の出来事に対する知識や問題関心・意欲、多様性への理解度を評価します。面接では志望動機のほか、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任の観点を評価します。

*国際バカロレア選抜

国際バカロレア認定校で学び、国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者

を対象に、書類審査と面接を行い、総合的に判定します。特に、書類審査では大学入学までに修得が期待される内容で示した基礎的な学力・能力・資質等を備えているか、面接では志望動機のほか、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任の観点を評価します。

経済学部

1. 教育理念

香川大学経済学部は、経済や経営に関する世界水準の研究教育活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念とします。学士課程では、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と経済や経営に関する専門知識や多様な価値や文化に対する深い理解に支えられた課題探求能力を備え、国際的な視野で地域社会において活躍できる進取の気象と共生の精神に富んだ教養豊かな経済人を育成することを目指します。

2. 教育目標

経済や経営に関する専門知識を活かし、多様な価値や文化に対する深い理解を背景として、国内外で活躍できる力を身につけます。

【専門分野に対する優れた能力】

経済の仕組み、企業の活動、世界の社会・歴史などに関するさまざまな現象から、自ら課題を発見し、それを探求・解決するための専門的知識を学びます。さらに知識を活かすには実務的な処理能力を兼ね備えている必要があります。理論と応用が有機的に結合した実行力を身につけます。

【経済人としての幅広い視野】

現代社会が求める経済人は、柔軟な視野にたち、コミュニケーション能力を備え、社会と積極的にかかわることのできる人材です。世界の諸文化について幅広い知識を持ち、多様な価値観を理解できるようにします。

【情報を分析し発信する能力】

今日の社会は複雑化した経済情報、国境を越えた世界中のあらゆる情報に満ちあふれています。必要な情報を迅速かつ的確に収集し、分析する能力を身につけるだけでなく、自ら情報を発信する力を身につけます。

3. 教育内容

経済学部学生が学ぶ授業科目は、「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は、主に1年次の全学学生を対象に開設される教養教育科目です。学部での専門教育を受けるために必要な基礎的な学力や学習の方法、他の分野の幅広い知識や考え方を身につけます。

「学部開設科目」は、学部学生を対象に開設する授業科目です。学部開設科目は、課題探求能力や実務処理能力を身につけるための科目であり、各専門分野を体系的に学べるように授業科目を用意しています。学部教育の根幹科目として、3年次履修の「演習」及び4年次履修の「卒業論文」を必修科目としています。

また入学後に、各学生は自分の興味・関心・適性、将来の進路等を考慮して、以下の5コースのうちからどれか一つを選択し、より専門性を深めるための科目を中心に学んでいきます。

【経済・政策分析コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し、複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養います。その上で、人びとの幸福の達成に向けて、経済のメカニズムを分析し、日本経済及び世界経済の課題やそれに対する政策の検討を行います。さらには、提言を行うための課題探求・解決力、コミュニケーション力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

公務員、自治体・企業の調査分析部門

【会計・ファイナンスコース】

(学修する内容と身に付ける力)

財務会計、管理会計、会計監査等の会計学分野について、主に企業行動を対象に段階的かつ網羅的に学ぶことで会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力を身につけます。また、金融論、経営財務、保険論及び財政学の分野について、政府の政策や企業行動を対象として学修することで、ファイナンス領域に関する深い理解力と洞察力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

金融機関、企業における経理部門・財務部門、会計ファイナンスの能力を生かせる官公庁(国税庁など)

【経営・イノベーションコース】

(学修する内容と身に付ける力)

戦略と組織、マーケティング、イノベーション、企業の社会的責任など、経営学に関わる幅広い内容を学修します。また、ビジネスの視点から問題解決にあたり、新たな価値を創造する上で必要となるコミュニケーション能力、課題探求・解決能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

民間企業(製造、卸・小売業)、官公庁・金融機関等における創業支援・経営支援の業務、起業

【観光・地域振興コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済学・経営学をベースに、観光学、地域活性化論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに、観光に必要な調査法やフィールドワークにより、地域振興に必要な実践的能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

公務員(観光振興、地域振興)、公益法人等(JA、生協、商工会議所)、観光業、地場産業等の企業

【グローバル社会経済コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため、経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学修します。その上で、世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決能力とコミュニケーション能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

国内外の企業（国際部門など）、公益法人（JICA など）、NGO、新聞社などのメディア

夜間主コースの学生は、1年次から卒業まで全員が以下の「総合経済コース」に所属します。

【総合経済コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済（経営）学分野を、教育内容の基礎として、経済（経営）学の多様な領域を幅広く学修します。さらに、法学関係科目の学修を可能とします。広汎な諸分野を学修することで、実務的必要性に対応する能力を身につけます。

(卒業後の進路等)

在学時に就業している企業・団体における昇任や専門性を生かせる職種への配置換え、専門性を生かした他業種、他企業・団体への転職、専門性を生かした起業、社会人向大学院への進学

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

*経済の仕組み、企業の活動、世界の社会・歴史などに関する専門性の高い学問を学び、研究活動を実践するための、高等学校等における幅広い学習に基づいた知識・技能・理解能力

②思考力・判断力・表現力

*経済・社会におけるさまざまな現象において、解決を必要としている問題を発見・探求し、自分の考えを論理的にまとめて、他者にわかりやすく伝える思考力・判断力・表現力
*情報伝達の高度化・迅速化が進む社会において、必要な情報を収集・分析し、自ら情報を発信することができる能力

③主体性・多様性・協働性

*柔軟な視野にたって社会と積極的にかかわり、コミュニケーション能力を備え、多様な価値観を理解できる主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

*経済・社会に関するさまざまな現象に興味を持ち、従来の考え方にとらわれず積極的に新しい物事に取り組んでいこうとする関心・意欲・態度

⑤倫理観・社会的責任

*グローバル化する社会において、地域に根ざしながら世界と連携し共生するために、自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観を理解し体現する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において学ぶ、英語、数学、国語を中心とした基礎学力を身につけていることが必要です。英語の基礎学力は、大学において、国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要です。数学の基礎学力は、数学的な推理能力や論理的な能力を必要とする専門科目の講義を受けるために必要です。国語の基礎学力は、講義やゼミナールで文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また経済・社会に対する関心を高め、論理的思考力を養うために普段から新聞を読んだり、読書習慣を身につけたりすることも重要です。さらに主体性・多様性・協働性を養うために、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動などに励むことも推奨します。加えて、国際的なコミュニケーション能力を養ったり、数学的な能力を培ったり、実務的な処理能力や教養を高めたりするために、英語検定、数学検定、簿記検定、漢字検定などの検定や資格の取得に励むことも推奨します。

5. 入学者選抜の基本方針

○一般選抜

*前期日程

知識・技能・理解能力を重視することから、大学入学共通テスト6教科7科目の成績を評価します。教科・科目に係る個別テストでは記述式の英語の試験を行い、思考力・判断力・表現力や国際的なコミュニケーション能力を評価します。さらに、多様な人材を受け入れるために、大学入学共通テストの国語・数学・外国語の配点が異なる2つの配点方式を併用した総合順位方式によって評価します。

*後期日程

知識・技能・理解能力を重視することから、大学入学共通テスト6教科7科目の成績を評価します。教科・科目に係る個別テスト等では小論文試験を行い、思考力・判断力・表現力や経済・社会に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。さらに、多様な人材を受け入れるために、大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の配点が異なる2つの配点方式を併用した総合順位方式によって評価します。

○特別選抜

*学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）

高等学校で一定水準以上の知識・技能・理解能力を身につけ、明確な経済学部への志向と勉強意欲を持っている人を対象に、小論文試験及び面接を行い、調査書の特記事項を評価します。小論文では、思考力・判断力・表現力や経済・社会に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。面接では、思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性、経済・社会に対する関心・意欲・態度、自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観への理解を評価します。特に志望理由書・推薦書に基づいて質問し、的確な応答をしているか、発言に説得力があり分かり易いか、社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。さらに調査書の特記事

項で、主体性・多様性・協働性や国際的なコミュニケーション能力・数学的な能力・実務的な処理能力・教養などを評価します。具体的には、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、数学検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

***学校推薦型選抜ⅡA（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）**

高等学校で一定水準以上の知識・技能・理解能力を身につけ、かつ人物的に優れた人を対象に、大学入学共通テストの国語、数学、外国語の3教科4科目と調査書の特記事項で評価します。大学入学共通テストでは、基礎的な知識・技能・理解能力を評価します。調査書の特記事項では、主体性・多様性・協働性や国際的なコミュニケーション能力・数学的な能力・実務的な処理能力・教養などを評価します。具体的には、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、数学検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

***学校推薦型選抜ⅡB（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）**

高等学校の専門教育を主とする学科で、一定水準以上の知識・技能・理解能力を身につけ、かつ人物的に優れた人を対象に、大学入学共通テストの国語、数学、外国語の3教科4科目（あるいは国語、数学、外国語、情報の4教科4科目）と調査書の特記事項で評価します。大学入学共通テストでは、基礎的な知識・技能・理解能力を評価します。調査書の特記事項では、主体性・多様性・協働性や国際的なコミュニケーション能力・数学的な能力・実務的な処理能力・教養などを評価します。具体的には、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、数学検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

***社会人選抜（夜間主コース）**

夜間主学生として、就業しながら勉学することに対する明確な動機や意欲を持つ人を対象に、小論文試験と面接で評価します。小論文では、思考力・判断力・表現力や経済・社会に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。面接では、思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性、経済・社会に対する関心・意欲・態度、自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観への理解を評価します。特に志望理由書・推薦書に基づいて質問し、的確な応答をしているか、発言に説得力があり分かり易いか、社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。

***私費外国人留学生選抜**

定められた教育を外国で受けて、日本で勉強することに明確な動機や高い意欲を持つ外国人を対象に、面接及び提出された書類と日本留学試験の成績で評価します。面接及び提出された書類では、経済学部での勉学に対する動機の明確さや意欲の高さを評価するとともに、経済学、経営学などを勉強するために必要な日本語のコミュニケーション能力、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、経済・社会に対する関心・意欲・態度、自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観への理解を評価します。日本留学試験では、経済学

部における勉学に対応できる日本語能力、経済学部での授業を理解するために必要とされる政治・経済・社会等の基本的な知識、数学の基礎的な学力を評価します。日本留学試験の「日本語」では 250 点以上の成績を必要とします。

***国際バカロレア選抜**

国際バカロレア認定校で学び、国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象に、出願要件の履修科目と提出された書類で評価します。出願要件の履修科目として言語 A 又は言語 B（日本語）、及び個人と社会又は数学を指定します。言語 A、言語 B（日本語）では、経済学部での修学のために必要な日本語のコミュニケーション能力を評価します。個人と社会、数学では、経済学・経営学などを学習するために必要となる人文社会科学の基礎学力や、数学的・論理的な推論能力を評価します。提出された書類では、知識・技能、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を総合的に評価します。

医学部（医学科）

1. 教育理念

香川大学医学部医学科は、①幅広い教養と高い倫理観を備えた人間性豊かな医師・医学研究者、②自ら課題を探究し、それを解決できる高度な専門知識と技術、科学的思考力、判断力を備える医師・医学研究者、③地域に根差した医療人として地域医療に貢献し、地域における医学・医療の中核としての指導的役割を担うことができる医師・医学研究者、④国際交流や国際貢献のための幅広いコミュニケーション能力と国際的視野を持った医師・医学研究者を育成することを目指します。

2. 教育目標

教育理念に掲げる医師・医学研究者の育成のために、次の能力及び態度を養成します。

- ① 医師・医学研究者として適切なコミュニケーションの実践及び世界標準の医学・医療に関する情報収集に必要な言語運用能力
- ② 21 世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養と医学・医療に関する基礎的知識と技能
- ③ 自ら問題点を見出し、解決する能力及び生涯を通じて自己主導型学習を実践する態度と習慣
- ④ 社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性、医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感
- ⑤ 医療・保健・福祉に関する地域理解及び地域医療への関心

3. 教育内容

教育目標を達成するために、全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

全学共通科目において 21 世紀型市民としての幅広い教養と社会性・倫理観、地域理解及び国際的言語運用能力を育成します。学部開設科目において、医学・医療の基盤となる自然科学領域と医学領域の知識と技能を養成するとともに、医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感及び地域医療への関心を涵養します。

階層的カリキュラムを実質化するため、年次ごとの進級要件を定め、年度末に厳格な進級判定を行います。4年次末においては、全国共通の共用試験の合格も進級要件に含まれます。臨床医学の修得に関する評価は6年次に卒業試験として行い、卒業判定に用います。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊医学の専門知識と技能を修得するための基盤となる、高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能

②思考力・判断力・表現力

＊情報の収集と評価、それに基づく自らの意見形成のための論理的思考力と判断力、及び形成した意見を他者へわかりやすく伝え、実行に移すための表現力

③主体性・多様性・協働性

＊医学に関する問題を自ら抽出し、多面的な視点から考察し、他者と協力して問題解決に当たるために必要な主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊進歩を続ける医学、医療の専門知識と技能に対する関心、生涯にわたりそれを学び続ける意欲、そのために必要な自己主導型学習態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる医療者として、また、医学と医療の継承と発展を担う医学者として求められる高い倫理観

＊医師・医学研究者としてのみならず社会の一員としても法令や社会的規範を遵守して行動できる社会性

◇大学入学までに修得が期待される内容

理科、数学、英語、国語を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために必要となる、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることが期待されます。英語では、英文教科書や学術論文の読解や論述、国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための基礎的学力を身につけていることが期待されます。国語では、事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し、表現したり、他者とのコミュニケーションを確立するために必要な基礎的学力を身につけていることが期待されます。

5. 入学者選抜の基本方針

○一般選抜

＊前期日程

大学入学共通テストにより、理科、数学、外国語、国語、地理歴史・公民、情報の6教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。

また、教科・科目に係る個別テスト等では、理科、数学、英語、面接を課します。理科では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを学力試験で評価します。これらは、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために欠くことのできない自

然科学の学力です。数学では、論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。英語では、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

○特別選抜

*学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）

大学入学共通テストにより、理科、数学、外国語、国語、地理歴史・公民、情報の6教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。小論文では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い理科の知識を修得していること、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では、志望理由書、推薦書、調査書をもとに質問し、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。さらに調査書では主体性・多様性・協働性などを評価します。発言は説得的でわかりやすく、質問に対して的確かつ論理的な応答であることが求められます。

*私費外国人留学生選抜

数学では、論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。理科系科目では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを評価します。これらは、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために欠くことのできない自然科学の学力です。英語では、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。面接では、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

*国際バカロレア選抜

国際バカロレア認定校で学び、国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象としています。医学部医学科の教育内容を修了するためには、優れた日本語能力及び数学や物理、化学、生物の基礎学力が必要なことから、これらの科目を出願資格の履修科目として指定します。教科・科目に係る個別テスト等の数学では、論理的思考力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。理科系科目では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを評価します。これらは、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために欠くことのできない学力です。英語では、英語でのコミュニケーション能力、英文教科書及び学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。書類審査では、知識・技能、思考力・判断力・表現力を総合的に評価し、面接では、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意

欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

医学部（看護学科）

1. 教育理念

香川大学医学部看護学科は、①生命の尊重を基本として、人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった看護専門職者、②保健・医療・福祉の進展に柔軟に対応できる科学的判断力と専門技術を備えた看護専門職者、③幅広い視野をもち、地域保健医療や国際貢献の発展に寄与する看護専門職者を育成することを目指します。

2. 教育目標

- ① 看護の対象である人間としての権利と自由を尊重し、思考力、判断力、行動力を高めることができる能力を養う。
- ② 看護の問題を総合的に判断し、解決できる基本的な知識及び看護実践能力を養う。
- ③ 生涯を通じて自己啓発し、看護を批判的に分析し、建設的・創造的に発展させることができる基礎的能力を養う。
- ④ 看護活動を通して教育、研究、管理を担い、及び国際貢献ができる能力を養う。

3. 教育内容

教育目標を達成するために、全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

人間理解に必要となる幅広い視野と知識の獲得のため、全学共通科目を学びます。学部開設科目では、看護学における専門知識と技能を修得し、総合的な実践力、専門職として生涯にわたり研鑽に努める姿勢、地域医療に貢献する姿勢を培います。

そのために年次ごとの進級要件を定め、年度末に厳格な進級判定を行います。

さらに養護教諭課程を編成・実施し、所定の単位を修得することにより、養護教諭免許を申請できます。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

* 高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

* 看護の対象を包括的に捉え、問題解決するための論理的思考力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

* 多面的な視点から思考し、自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

* 主体的に多様な他者とかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

* 人々の健康を支援するために看護に高い志と強い関心を持ち、継続して意欲的に課題に取

り組むことができる能力

＊看護専門職として国内外を問わず社会に発信し、生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる看護専門職者として、また社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学入学後の講義を理解するために必要な基礎学力の修得と、自ら学ぶ姿勢を持つことが望まれます。看護専門職には他者の意見や価値観を尊重し、他者を思いやることができるコミュニケーション能力が必要となります。高等学校等における学習や課外活動を通して、幅広い視野と主体性・協働性を養い、自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

5. 入学者選抜の基本方針

○一般選抜

＊前期日程

知識の総合力を重視することから、大学入学共通テストにより、国語、数学、地理歴史・公民、理科、外国語、情報の成績を評価します。特に、看護学を学ぶために必要な論理的思考力、基礎的学力を評価します。さらに、面接では、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

○特別選抜

＊香川大学 ナーシング・プロフェッショナル育成入試（総合型選抜Ⅰ）

（大学入学共通テストを免除する総合型選抜）

第1次選抜では、出願書類の内容を総合して関心・意欲・態度、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を評価します。第2次選抜では、第1次選抜の合格者に対して小論文試験及び面接を行います。英語と日本語で出題される小論文では、知識・読解力、論理的思考力・表現力、文章構成力を評価します。面接では思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。これらを総合的に判断し、最終合格者を決定します。

＊国際バカロレア選抜

国際バカロレア認定校で学び、国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象としています。医学部看護学科の講義内容を理解し、自分の考えを表現できる日本語能力を持っていることを求めます。理科の基礎学力が必要なことから、出願資格の履修科目として指定し、書類審査では、知識・技能、思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

また、本学科で学ぶにあたり、看護職としての適性を評価するため、面接を実施します。面接は日本語で行い、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

日本での居住歴が概ね10年以上ある帰国子女であれば、言語A、Bともに日本語以外を履修している場合でも出願可能で、面接試験で日本語能力を評価します。

医学部（臨床心理学科）

1. 教育理念

香川大学医学部臨床心理学科は、①人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった人間性豊かな心理援助者、②自ら課題を探究し、それを解決できる基本的な専門知識と技能、科学的思考力と共感的理解力を備えた心理援助者、③多職種連携・協力ができる資質を持ち、心理援助の実践を通して地域住民の福祉の充実発展に寄与するとともに、心理援助の発展に貢献する心理援助者を育成することを目指します。

2. 教育目標

教育理念に掲げる心理援助者の育成のために、次の能力及び態度を養成します。

- ① 人間性を尊重した対人支援の態度、共感的コミュニケーション能力及び多職種と連携・協働しようとする態度
- ② 心理臨床の現場において心理援助者が必要とする心理学・臨床心理学の基礎的知識・技能、それに加えて身体と精神が相互に関連していることの理解及び心理援助者にとって重要な疾患・障害についての知識
- ③ 心理臨床の学習・実践において、自ら問題点を見出し解決しようとする問題解決・課題探究能力
- ④ 心理援助者としての倫理観、使命感、責任感、省察的態度及び生涯にわたり研鑽に努める姿勢
- ⑤ 地域社会における医療・保健、教育、福祉等の現状と課題への関心及びその中での心理援助者の役割についての理解
- ⑥ 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養を踏まえた、社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性

3. 教育内容

教育目標を達成するために、全学共通科目と学部開設科目（専門基礎科目、専門科目）から構成される教育課程を編成・実施します。進級に関する要件はありませんが、「臨床心理学基礎研究Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅰ（心理支援実習）」「臨床心理学研究Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅱ（チーム医療実習）」及び「卒業研究」を受講するには、医学部が定める要件を満たすことが必要です。

講義科目では、心理学・臨床心理学を体系的に学ぶとともに医学の基礎を並行して学習することで、身体と精神が相互に関連していることを理解し、心理援助者にとって重要な疾患や障害についての知識を修得します。「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学統計法」「心理学研究法」などの実験・演習科目では、心の問題に対する実証的な研究法を学びます。さらに、少人数の体験学習による演習科目や学内・学外機関・施設における実習科目によって、人間性を尊重した対人支援の態度や共感的コミュニケーション能力、クライアントや患者を中心として多職種間で連携・協働できる能力を身につけます。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

* 高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

* 人間の心理を深く理解し支援するための論理的思考力や判断力, 根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

* 多面的な視点から思考し, 自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

* 主体的に多様な他者とかかわり, 他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

* 他者の気持ちを敏感に感じ取る感受性や共感的コミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

* 心理的援助に高い志と強い関心を持ち, 継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

* 人間尊重の態度や深く温かい眼差しを持ち, 他者との関わりを通して, 自己理解を深め, 自らの潜在的な資質を成長させようとする意欲

* 大学卒業後もさらに高度な心理的援助の実践力を身につけ, 心理援助者として, 地域に貢献し, 社会に役立ちたいという意欲

⑤倫理観・社会的責任

* 人間の健康, 適応, 成長に関わる心理援助者として, また社会の構成員としての自覚と責任を持ち, 自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

国語, 英語, 数学を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では, 生命や自然現象を科学的, 論理的に理解するための幅広い知識の修得が, 社会系科目では, 人の生活の背景となる文化, 歴史, 社会に関して多様な視点から把握できる姿勢が期待されます。国語では, 事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し, 表現したり, 他者とのコミュニケーションを確立するための, 英語では, 英文教科書や学術論文の読解や論述, 国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための, 数学では, 数的処理に基づいた論理的思考力や統計のための基礎的学力を身につけていることが期待されます。

5. 入学者選抜の基本方針

○一般選抜

* 前期日程

臨床心理学を学ぶために必要な広範囲の基礎学力を大学入学共通テスト(国語, 数学, 地理歴史・公民, 理科, 外国語, 情報)の成績により評価します。

また, 教科・科目に係る個別テスト等では, 国語又は数学, 英語, 面接を課します。国語又は数学について, 国語は考えを論理的に展開したり, 文章にまとめたり, 適切に表現できる能力を, 数学は推理能力や論理的な能力を評価するため, 文系と理系の学生を幅広く評価するため選択教科として実施します。英語は大学において, 国際的なコミュニケーション能

力を評価するために実施します。面接では、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協調性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

○特別選抜

*国際バカロレア選抜

国際バカロレア認定校で学び、国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象としています。医学部臨床心理学科の講義内容を理解できる日本語能力、及び、「個人と社会」の基礎学力が必要なことから、これらの科目を出願資格の履修科目として指定します。国際バカロレア選抜では、個人と社会の多様性を理解するための探究心、異なった文化的背景を持つ人たちと共生できるリーダーシップ、そして行動力を期待します。

また、教科・科目に係る個別テスト等では、国語又は数学、英語、面接を課します。国語又は数学について、国語は考えを論理的に展開したり、文章にまとめたり、適切に表現できる能力を、数学は推理能力や論理的な能力を評価するため、文系と理系の学生を幅広く評価するため選択教科として実施します。英語は大学において、国際的なコミュニケーション能力を評価するために実施します。書類審査では、知識・技能、思考力・判断力・表現力を総合的に評価し、面接では、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協調性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

創造工学部

1. 教育理念

日本のものづくり産業は「大量生産」「大量消費」の時代から、「ものづくり」さらには「ことづくり」におけるイノベーション創出の時代に変遷しており、人々の多様なニーズに柔軟に対応できる個性豊かで付加価値の高い「もの」や「こと」を創り出す「デザイン思考能力」を有する人材が必要とされています。さらに、「もの」や「こと」が創造的で新しいものであるほどそれを実現するためには相対的に高いリスクが存在し、また、「もの」や「こと」には平時にのみならず危機に瀕しても価値を発揮することが求められていることから、「リスクマネジメント能力」を有する人材も必要とされています。創造工学部は、これらの能力を備えた「次世代型工学系人材」を輩出するため、以下に示す教育理念を定めています。

創造工学部では、人間とその生活を取り巻く自然に焦点を当て、人間と自然が調和的に共生できる文化・安全・産業の創造を目指し、専門的基礎能力に裏打ちされた幅広い工学のバックグラウンドに加えて、デザイン思考能力並びにリスクマネジメント能力を磨くことで、国際社会で尊敬される良き市民としての個性豊かな技術者を育成します。

2. 教育目標

創造工学部では、以下の素養を育成することを目標としています。

- 1) 専門分野を問わず工学系人材として必要な数理的基礎力
- 2) 高い倫理観とそれに裏打ちされた対人コミュニケーション力及び異文化コミュニケーション力
- 3) 地域を理解し、地域と協働して価値の創造を行う力
- 4) 審美力、多様性理解力、企画力、プロトタイピング力などを統合したデザイン思考能力

力

- 5) 様々なリスクを把握・抽出し事前に対応策を講ずるとともに、想定外の事態にも対応できるリスクマネジメント能力

3. 教育内容

創造工学部生が学ぶ科目は、「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。

「全学共通科目」は、全学生を対象に開設する科目で、人間的教養を高めるための教養教育科目です。1年次生を対象に大学の勉学に必要なスキルなどを少人数で学ぶ大学入門ゼミとIT社会において必要な能力を身につける情報リテラシー、現代社会の課題・問題を学ぶ主題科目などからなります。

「学部開設科目」は、工学の専門家としての素養を身につけるための科目で、エンジニアとしての倫理観、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力などを身につけるための学部共通科目と、それぞれの分野の専門を深めるためのコース専門科目に大別されます。

創造工学部は、「文化の創造」「安全の創造」「産業の創造」を担う人材が備えるべき専門性を育成するため7つのコースを開設します。各コースは以下に掲げる人材を育成するため、それぞれの特性を持った「コース専門科目」を提供します。

【造形・メディアデザインコース】

香川県は、美術・建築・工芸等の分野で、瀬戸内の自然や風土に育まれた優れた伝統・文化を持ちます。その価値を、今日的視点で多角的に研究・継承し、芸術的視点で統合しながら、工業製品・情報メディア等の造形・デザイン・制作に貢献できる創造的な人材を育成します。実践的なカリキュラムによって、優れたコミュニケーション能力、表現力を育成し、工業製品のデザイン、情報メディア・コンテンツのデザインに貢献できる人材を育成します。

【建築・都市環境コース】

少子高齢化や地方経済の衰退が進行するなかで、地域の限られた人的及び物的資源を活用し、安全・安心で快適に暮らすことができる地域社会の構築を目指し、建築、土木、環境等の関連分野を俯瞰し、これらを活かした質的価値の高い“暮らし”をデザインできる技術者を養成します。関連分野の基礎知識の習得に加えて、地域固有の自然環境や歴史文化、社会基盤、種々の建築物など社会を構成している諸要素に関する多様な技術を学び、測量士補の資格や建築士などの受験資格を得ることができます。

【防災・危機管理コース】

日本は首都直下地震や南海トラフ巨大地震のような国難といえる巨大自然災害だけでなく、国を超え地球規模の様々な危機にも直面しています。また、現在のようなグローバル化した世界では、ある地域の災害や事変が世界を震撼させる可能性もはらんでいます。本コースでは、地域の強みと弱みをよく知り、経験だけでなく人類や地球の歴史からも学び、何が脅威になるかという予見能力を持ち、ハードウェア、ソフトウェアとヒューマンウェアを組み合わせて、危機を未然に防止し、防止できないときには危機が災害に、災害が破局に拡大しないように対処できる人材を育成します。

【情報コース】

IT・デジタル技術や人工知能の進化により、個人の生活から産業のあり方まで、社会全体が大きく変わろうとしています。この変化を加速させるためにコンピュータ、セキュリティ、データ分析等の基礎知識に加え、これらを実社会に応用できる実践的なスキルをもった次世代型のIT人材が求められています。当コースでは、これらの要求に応えるため、グローバルなネットワークを利用するクラウドやビッグデータなどを対象とする情報システム技術、高い信頼性や安全性を確保するセキュリティ技術、利用者の立場で情報システムを設計できるヒューマンインタフェース技術を身につけ、地域、日本、世界からの情報システム・セキュリティのニーズに対応した情報技術者を育成します。

【人工知能・通信ネットワークコース】

私たちの生活を一層豊かで便利にするために、身の回りのあらゆるものを通信ネットワークで結び、人工知能（AI）を用いて自動化する技術や将来予測・意思決定に役立てる技術の開拓が求められています。本コースでは、これらに必要となる人工知能、無線・光通信ネットワーク、計測技術等を身につけるため、人工知能の基礎・応用、これらの電子回路上的実装、電気・通信ネットワーク系の基礎・応用を学びます。

【機械システムコース】

社会に貢献できる「付加価値」のある製品やサービスの提供を目指し、「先端的なものづくり」をリードする高度な機械系技術者を養成します。機械工学の基礎として解析力、力学、制御技術、設計・製図を身につけ、その上で、高度な機械システムを形成するために必要な電気電子、情報分野の知識についても学びます。そのため、自動車、電機、情報、鉄鋼、医療機器など機械システムに関わる様々な分野で技術者として活躍できます。

【材料物質科学コース】

物質に対する化学や物理の理解を深めることは、材料科学の基礎であり、安心・安全で持続可能な社会の実現と省エネルギー・省資源化に貢献する先端材料の開発に不可欠です。新材料の創造は常に世界の先端技術をけん引しています。本コースでは、社会に貢献する新しい材料をつくり出すという視点から、材料・機械・電気・化学・物理・生物などに細分化されている学問を「環境材料化学分野」、「機械材料科学分野」、「光・電子材料科学分野」の3つに統合し、自然界の原理・原則・現象の理解を基礎とした幅広い実践的な教育研究を行います。本コースの卒業生は、製造業、化学、金属、素材メーカー、電気・電子部品など様々な分野で活躍しています。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

- * 高等学校等における国語、外国語、数学、理科などを中心に、幅広い学習に裏付けされた本学部の専門領域を学ぶために必要な基礎学力・技能

②思考力・判断力・表現力

- * 本学部の専門領域の分野を多角的かつ包括的に捉え、それぞれの問題を解決するための論理的思考能力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力
- * 物事を多面的な視点から思考し、自分の考えを他者からもわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする
協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊本学部の専門領域のいずれかの分野に興味関心を持って自ら積極的かつ継続的に課題に取り組む意欲と審美眼を持ち、身につけた知識・技術を分かりやすく表現し、共生環境創造、地域社会創造及び国際社会に役立てる意欲・態度

＊技術者として国内外を問わず社会に発信し、生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊本学部の専門領域における技術者として、また社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において、国語、外国語、数学、理科などを中心に基礎学力を身につけておいてください。本学部の理念を理解し、技術専門職として、他者の意見や価値観を尊重し、他者を思いやることのできるコミュニケーション能力も必要ですので、生徒会活動やクラブ活動・ボランティア活動等を通して、幅広い視野と主体性・協働性を養い、自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

5. 入学者選抜の基本方針

○一般選抜

＊前期日程

多様な能力・志向を持つ学生を確保するため、試験科目の組み合わせとして、高等学校等で理系科目を中心として履修した人を対象とするもの（Aタイプ）、必ずしもそれに当てはまらない場合でも本学部の教育に興味がある人を対象とするもの（Bタイプ）の2種類を用意しています。造形・メディアデザインコース、防災・危機管理コース及び情報コースを希望する人は、Bタイプも選択できます。前期日程では、従来の文系理系の枠にとらわれない広い視点に基づく創造工学を目指す人を求めるために、本学部で学ぶための知識・技能を評価します。大学入学共通テストでは6教科8科目（Bタイプ志願者は、6教科7科目）を課しています。教科・科目に係る個別テストでは、基礎的な理数系科目（数学、物理、化学）から1科目または2科目を課し、本学部で学んでいく上で必要な基礎学力を問います。Bタイプの造形・メディアデザインコース志願者には総合問題を課し、多面的な視点から思考し、論理的思考能力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力を問います。防災・危機管理コース及び情報コースの志願者は、地学も選択できます。

＊後期日程

後期日程では、科学技術に関するさまざまな問題に対する判断力や対応能力や将来に国際社会で活躍するために必要な基礎的能力などを総合的に問います。そのため、大学入学共通テストでは、6教科8科目を課しています。また、教科・科目に係る個別テスト等では「21世紀にあるべき工学」を学ぶために必要な知識・技能などを問うことを目的とした小論文を課しています。

○特別選抜

*学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）

学校推薦型選抜Ⅱでは、創造工学を学ぶために必要な基礎学力を大学入学共通テストの数学、理科、外国語、情報の4教科5科目により評価します。また、調査書の審査では、勉学状況に加えて生徒会活動やクラブ活動などへの取り組み、特技や取得資格などを重視し、創造的な探究心、主体性、社会性、積極性、倫理観・社会的責任などの観点から総合的に評価します。

*総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する総合型選抜）

第1次選抜では、出願書類の内容を総合して関心・意欲・態度、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を評価します。第2次選抜では、第1次選抜の合格者に対して、口頭試問、プレゼンテーションのいずれかと面接を課します。口頭試問は、基礎学力や将来性を評価します。プレゼンテーションは、各コースの課題に対する発想力、創造力、論理的思考力、表現力等を評価します。面接は、向上心、論理性、積極性、倫理観・社会的責任等を評価します。これらを総合的に判断し、最終の合格者を決定します。

*私費外国人留学生選抜

日本国の教育機関で教育を受ける目的を持って入国した外国人を対象としています。面接において数学と理科について試問を行い、知識や思考力を評価しています。また、面接での質疑を通じて主体性や社会的責任感も評価しています。

*国際バカロレア選抜

国際バカロレア認定校で学び、国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象としています。創造工学部の講義内容を理解できる日本語能力、及び、数学や理科の基礎学力が必要なことから、これらの科目を出願資格の履修科目として指定しており、書類審査によって知識や思考力を評価しています。

農 学 部

1. 教育理念

香川大学農学部は、先端的かつ総合的な生物科学を基礎に、自然と調和した安全で快適な地域社会を実現するための教育と研究を行うことにより、豊かな人間性と国際的な視野、課題探求能力を備え、生物資源の生産と活用に関する科学と技術を総合的に理解し、生物科学を基盤とする産業界で幅広く活躍できる有為な人材を養成することを目指します。

2. 教育目標

香川大学農学部では、生物資源の生産と活用に関する幅広い知識と技能を身につけ、科学的な思考に基づく課題設定力、国際感覚を備えた判断力及びコミュニケーション力を備え、多様で広範な社会の諸課題の解決に向けて柔軟な思考によって取り組むことのできる「農学の実践力」を持って国際的協働社会の一員として自覚的に行動できる人材を育成します。

3. 教育内容

農学部生の履修する授業科目は「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は幅広い教養を身につけるために全学学生を対象に開設された授業科目であ

り、「学びと生き方科目」（「学問への扉」、「大学入門ゼミ」、「情報リテラシー」、「ライフデザイン」、「健康・スポーツ」から構成）、「主題科目」、「学問基礎科目」、「外国語科目」、「広範教養教育科目」、「高度教養教育科目」という科目群から構成されています。「学部開設科目」には専門の基礎固めのための「導入科目」と「共通基礎科目」、高度な専門性を身につけるための「コース専門科目」、さらに社会的課題などに視野を広げるための「共通展開科目」が設けられています。

農学部は応用生物科学科の1学科制を採用しています。入学後、まず学部共通の導入科目と共通基礎科目を履修し、生物科学の基礎を身につけます。この間に、自らの学習の方向性と適性を把握し、2年後期からは以下の5つのコースに分かれて専門科目を履修し、学修を体系的に完成させます。

【先端生命科学コース】

近年の生命科学やバイオテクノロジーのめざましい発展により、生命現象や生物が有する機能をゲノムレベル・遺伝子レベル・タンパク質レベルで解明し、利用することが可能になってきました。先端生命科学コースでは、微生物から高等動植物までの様々な生命活動を分子（遺伝子、タンパク質）レベルで明らかにする生命科学の基礎から、その成果を有用生物の開発や生物資源の有効利用へと役立てるための応用技術まで幅広く学ぶことができます。

【アグリサイエンスコース】

豊かな社会の発展に求められる安全で安定的な食料供給と、生活に潤いをもたらす園芸資源の生産開発をめざして、遺伝資源の評価と品種改良、持続可能な生産管理技術と生産環境解析、生産物の流通・利用システムなどを、フィールド技術から生命科学の知識まで幅広く実践的に学びます。さらに、アグリサイエンスの理論を基礎から応用まで体系的に学習し、連携した実験やフィールドでの実習を通して自ら検証できるユニークな教育体制を有しています。

【フィールド環境コース】

生物と環境との相互作用、環境中の物質循環について学びます。特に里海・里山・身近な水辺を主な対象として、化学的・生物学的手法をはじめとする様々な分野の手法と理論を活用し、フィールド及び実験室で調査解析に取り組みます。さらに、環境問題や生物の利用・管理・保全に対して実践的に取り組む力を身につけます。

【バイオ分子化学コース】

生物は多種多様な分子（有機化合物）を生産し、それらを自己防御や他者とのコミュニケーションに利用しています。バイオ分子化学コースでは、これらの分子の探索、構造解析、化学合成、作用機構の解析などを通して、自然界における生物の生存戦略を理解するとともに、有用な分子や関連する技術・情報などを農業、医薬、食品といった幅広い分野に提供できる人材の育成を行います。

【食品科学コース】

食品の持つ人間に対する種々の生体調節機能を科学的に理解し、食品の（1）機能性（2）安全性（3）嗜好性・加工特性について学びます。講義と実験・実習（学外の工場又は研究所見学なども含む）を組み合わせ、基礎から応用、そして実践的内容のカリキュラムで、安

全で、機能性が高く、様々な嗜好性に対応できる食品を開発できる人材の育成を行います。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊農学部専門科目を学ぶために必要な基礎的な知識と技能

②思考力・判断力・表現力

＊課題解決に必要な柔軟で論理的な思考力・判断力と自分の考えを的確に伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊地域社会や国際社会における生物資源の生産・利用に関する広範な諸課題を積極的かつ主体的に探求し、多様な観点で考え、他者と協働して課題を解決するコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊生物と生物資源の生産及びその有効利用並びにそれらの基盤となる生命現象に強い関心を持ち、関連する様々な課題に積極的・主体的に取り組もうとする高い意欲

＊生物関連産業での活躍を希望し、応用生物科学の様々な分野の専門知識や技術を意欲的に修得しようとする態度

⑤倫理観・社会的責任

＊生物資源の生産と利用に関わる者として、自然と調和した安全で快適な人間社会を構築するための高い倫理観と社会的責任を理解する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校において、理科、数学、国語、英語を中心とした基礎学力を身につけておいてください。農学部では、生物科学の様々な分野の学問を理解し、生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために理科と数学の基礎学力が必要となります。また、生物資源の生産と利用に関する情報を理解し、自らの論理的思考及び判断をもってこれを説明できるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養うことを目標としています。これらを日本語だけでなく英語でも可能にするために国語と英語の基礎学力が必要です。

5. 入学者選抜の基本方針

○一般選抜

＊前期日程

高等学校における教科面での学習の達成度、知識・技能、思考力・判断力・表現力をみるために大学入学共通テストでは国語、数学、地歴・公民、理科、外国語、情報（6教科8科目）を課します。教科・科目に係る個別テストでは、農学部における勉学の素地として自然科学を重視し、修学に必要な知識・技能をみるために数学又は理科（1教科1科目）の得点を評価します。

＊後期日程

高等学校における教科面で、農学部で特に必要な教科の学習の達成度、知識・技能、思考力・表現力をみるために大学入学共通テストの数学、理科、外国語（3教科4科目）の得点を評価します。

○特別選抜

*学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）

高等学校における教科面で、農学部で特に必要な教科の学習の達成度、知識・技能、思考力・表現力をみるために大学入学共通テストの理科、外国語（２教科２科目）の得点を評価します。また、提出書類から志望動機や勉学状況に加え、主体性・多様性・協働性、関心・意欲を総合的に評価します。具体的には、学内外での活動（文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学経験、ボランティア活動など）、科学的な研究活動、資格・検定等（英語検定など）において実績を収めているものを評価します。

*総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する総合型選抜）

第１次選抜では、出願書類から志望動機や勉学状況に加え、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を総合的に評価します。

第２次選抜では、第１次選抜の合格者に対して授業理解力テスト（講義を受けての記述式テスト）及び面接を行います。授業理解力テストでは知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を総合的に評価します。

*私費外国人留学生選抜

外国で所定の教育を修め本学で教育をうけることを希望し、農学部の講義の内容を理解できる日本語能力を身につけている外国人を対象に、日本留学試験又は日本大学連合学力試験、及び、英語（TOEFL、TOEIC、又はIELTS）の成績により知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では、農学部において生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために必要な日本語コミュニケーション能力、動機、関心・意欲・態度を総合的に評価します。

*国際バカロレア選抜

国際バカロレア認定校で学び、国際バカロレア資格（IB フルディプロマ）を取得した者を対象としています。農学部の講義内容を理解できる日本語能力、及び、生物と化学の基礎学力が必要なことから、これらの科目を出願資格の履修科目として指定します。書類審査により知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲等を総合的に評価します。